

相 談 事 例

ID： 02-03-039

相談タイトル

工事中の土留めコンクリートのひび割れ、破損について

Q：ご相談内容

外構業者が自宅敷地の土留めコンクリート擁壁を打設したが、型枠を外したところ、擁壁表面を見ると擁壁の上部から下部までの長さのひび割れが多く発生していて、一部にコンクリートが剥落している部分もある。また、擁壁上にフェンスを設置する予定であり、フェンスの足部を埋め込む擁壁上部の穴部分は、ほとんど全ての箇所で、ひび割れが生じている。心配なのでどのように対応して良いか聞きたい。

A：回答

コンクリート構造物については、そのコンクリートの配合や養生等を十分に注意しても、打設時の若干のひび割れ等の発生を防げないこともあります。ひび割れといっても、軽微な収縮クラック程度であれば、構造的にはそれほど心配する必要はないと考えますが、支持地盤の不同沈下や擁壁であれば土圧がかかりその力により発生したクラック等であると、対応等を考慮しなければならないこともあります。

それらの判断には、現地でクラックの程度（幅、長さ）や発生の原因などを調査しなければ明確にはわかりませんので、建築士や土木コンサルタントの方に状況を調査してもらい、対応が必要になるひび割れかを確認し判断して貰うこととなります。群馬県建築士事務所協会では住宅アドバイザー制度を実施しておりますので利用されてはと思います。